



## CONTENTS

- 地域振興  
市長と語るまちづくり懇談会 ほか
- 消防団  
秋季非常招集訓練 ほか
- 子どもを育む  
コミュニティスクール ほか
- 環境衛生  
全市一斉水辺等美化活動実施報告 ほか
- 健康福祉  
ふれあい広場・文化祭 ほか
- 生活安全  
秋の交通安全 ほか

## コラムかなえ

絵手紙制作を、ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭で、健康福祉委員会と民生児童委員協議会との共催で実施しました。

この絵手紙は毎年、鼎地区にお住いの独居高齢者約250名に年賀状としてお届けするもので、お正月に受け取っていただいた皆様には、大変喜んでいただき、心温まるお礼のお手紙も届いています。会場では、小さなお子様からご年配の方まで大勢の方に参加いただき楽しそうに、また真剣に取り組んでくださいました。講師からは、題材である『コマやダルマ』等が、はがきからはみ出すように、線は力強くと指導があり、墨汁や専用の絵具を使い描いていただきました。

参加してくださった皆様に感謝し今後も絵手紙制作にご協力いただければ幸いです。

# 地域振興

## 市長と語る まちづくり懇談会 副会長 奥村 充由

8月25日、県公民館に於いて、市長・部局長とまちづくり委員会関係者約50名で、今年度の「市長と語るまちづくり懇談会」が開催されました。市長からの水道事業の説明の後、「公共複合施設建設事業



4つのテーマで意見交換を行った今年度のまちづくり懇談会

最後に「県道青木東線下山工区の早期整備」をお願いしました。市長から「要望だけでなく建設的な意見を出してほしい」と話がありましたが、要望事項が主となる懇談会となりました。

三つ目は「リニア中央新幹線松川工区の地元安全対策」について現状説明を受け、更なる安全対策を申し入れました。

飯田市の一時間当たり36・8ミリという計算基準の見直しを提案しました。次に「雨水排水計画」では、今後予想される中規模施設建設と近年の大雨を考慮して、飯田市の一時間当たり36・8ミリという計算基準の見直しを提案しました。



県道青木東線 愛称「県さわやかロード」 下山西交差点から下山工区を望む



通学路の安全対策としても早期改良を求めている

水道と調整を進めているという説明が、飯田建設事務所からありました。調整が整ったら、地元提示される予定。

飯田建設事務所所長へ県道青木東線下山工区の改良促進を要望しました。要望活動には、まちづくり委員会の前田会長、地域振興・建設部の前澤部長、下山区の伊澤区長、東山区の大鹿区長が出席しました。

県地区まちづくり委員会では、10月26日に飯田文化会館において、佐藤市長とともに、飯田建設事務所所長へ県道青木東線下山工区の改良促進を要望しました。要望活動には、まちづくり委員会の前田会長、地域振興・建設部の前澤部長、下山区の伊澤区長、東山区の大鹿区長が出席しました。

## 飯田建設事務所所長への 要望活動

今年度は10月3日から13日のうち、7日間11地区で行い、延べ600名を超える参加者が参加、アンケートを含めると、1000を超えるご意見をいただきました。わたしの所属する産業建設委員会では、「地域内経済循環」地域のお金を地域の中で回すためには「地域内で回すのも大切だが、外から入れることも大事」

昨年コロナ禍ともあつてブロック別ではなく、県地区単独で行われた「議会報告・意見交換会」ですが、意見交換しやすいとのこと、今年も県地区単独で10月4日に県公民館で行われました。この「議会報告・意見交換会」は、飯田市自治基本条例にはじまります。この条例の第6章、議会の役割のなかに市民に開かれた議会として、議会報告会の開催に努めるとあります。これを受けて、平成21年から形は少しずつ変わってはいませんが、今日まで行われてきました。

## 議会報告・意見交換会 まちづくり委員会 特別委員 古川 仁



澤柳忠夫さん(左)と佐藤市長

9月29日に執り行われた令和5年度市政功労表彰式で、昨年度まで県地域協議会の会長を務められた澤柳忠夫さんが市長から表彰されました。

## 市政功労者表彰



市議会の3つの常任委員会による分科会で意見交換が行われた

「飯田の食文化の発信を」など県地区の皆さんからご意見をいただきました。今後の議会活動に生かしてまいります。

**地震総合防災訓練の  
自主防災会本部訓練**  
自主防災部部長 吉川 豊

9月3日(日)に飯田市の実施した地震総合防災訓練に呼応し、鼎地区においても防災訓練を実施しました。

コロナ禍でも各地区では工夫を凝らした防災訓練を実施していましたが、本部訓練を中止していたこともあって、4年ぶりの訓練となりました。

この間に本部役員・総務委員・業務委員は交代していたこともあって、組織や実施内容の見直しを行っての実施となりました。防災委員参集訓練と無線クラブと連携した情



自治振興センター3階会議室で  
自主防災会本部訓練を実施

報伝達・収集訓練は従来通りの実施となりました。業務委員の避難所開設・運営に関する訓練では、あらかじめ決められたメンバーでない機能しない組織にならないよう、参集できたメンバーでも機能させることができるように全員参加で確認を行いました。



業務委員による防災備品の点検

反省として、委員からは「実際に災害が発生したときにはどの程度ならば集まらなければならぬのかわからない」と心配する声が多く聞かれました。本部としても災害の種類ごとに何らかの基準や本部からの連絡方法の検討が必要と感じました。

**赤十字奉仕団は動いている！**  
飯田市赤十字奉仕団鼎分団  
分団長 福澤豊子

奉仕団活動は、地域の皆様の安心安全のための研修と身近な奉仕活動が二本柱です。

6月16日に、2年間コロナ禍で中止せざるをえなかった炊き出し訓練を3年ぶりに行いました。本団から正副委員長を迎え、大萬さんからガス器具の説明を受けて後、洗米から炊飯、おにぎりを結び包装まで、奉仕団の基本とするやり方を学び体験しました。

9月3日の各地区防災訓練では、この学びを生かして炊き出しを実践しました。

9月15日には、消防団の秋季非常招集訓練に伴い、夜間の炊き出し訓練を行いました。万一の災害に備えての炊き出し訓練は、当日までの準備と段取り等多くの苦労がありましたが、やってみることで課題を見つけ、自信を持ってたことは大きな成果でした。

救急法の研修は、毎月1回、指導員を招いて一次救命処置、傷や骨折の手当ての包帯法等の実技練習を行っています。現在、鼎分団では14名が救急



炊き出し訓練では、味ご飯もつくりました

員の資格を持って研修を重ねています。奉仕活動では、一年を通しての矢高公園の清掃、鼎公民館の座布団カバーの洗濯、福祉施設への障子貼りや窓拭きを行う迎冬奉仕、赤い羽根・海外助け合い街頭募金等に取り組みました。



秋晴れの紅葉のなか  
総勢50名ほどで山作業を実施

**鼎財産区山作業**  
産業経済部長 中島基雄

10月22日(日)に鼎財産区山作業を壮年団の山林愛護会とまちづくり委員会で実施しました。飯伊森林組合中部支所長の指導のもと、下草刈りや樹木保護テープの巻き直しのほか、昨年度伐採した間伐材を軽トラで林道南沢線に運搬して下したあと杭に加工し、傾斜の強いところに杭打ちして作業道の階段をつけました。普段経験しないことで苦勞しましたが、わたしたちのまわりの山林を今後も適切に管理されることが望まれます。

# 消防

## 秋季非常招集訓練

9月15日(金)の夜間に、地域住民の方々や伊賀良消防署様の協力を得て、伊豆奈公園(名古熊)にて秋季非常招集訓練を実施しました。現地は街路灯などの照明が存在せず夜間は完全な暗闇だったため、各班は照明の確保を行いながらの作業となりました。

また、今回の訓練は取水可能な水路と火点との距離が非常に長く、ポンプ1基のみだと圧力不足により放水することが困難なため、途中で他班のポンプに中継しながらの放



水となりました。

このように様々な困難な要素が存在する中での訓練ではありましたが、各班で努力し、無事放水することができました。夜間における作業時の安全の確保、長距離における放水時の各班の連携を学ぶことができた、良い訓練になったかと思っております。

冬場は就寝時の暖房器具の消し忘れ等により夜間の火災発生も大いに考えられますので、今回の訓練の経験を踏まえて活動にあたりたいと考えております。

最後に、夜間で周囲が暗い中、訓練にお越しいただいた方々、訓練にご協力いただいた各団体及び近隣住民の方々に厚く感謝申し上げます。



## 鼎地区縦断駅伝大会

9月10日(日)に開催された鼎地区縦断駅伝大会に参加しました。

順位は16チーム中13位(一般の部4チーム中2位)という結果で、無事タスキをつないで完走することができました。

他のチームと異なりわがチームは消防団の活動服とアポロキャップを着用して走っていたので、目についた方もいるかと思えます。

鼎地区の方々に消防団が火災出動だけではなく、様々な活動をしていることを知っていただけたら幸いです。



## 鼎ふれあい文化祭

11月4日(土)から11月5日(日)にかけて開催された鼎ふれあい文化祭にて、消防ポンプ車の展示を行いました。

ポンプ車の展示は11月4日(土)のみ行いましたが、とても大勢の子どもたちが集まってきて、ポンプ車に乗ったりヘルメットを被ったり筒先を持ってたりして楽しんでいました。

正直なところ今どきの子どもが消防車に興味を示すことは少ないと思います、あまり見に来ないと思っておりましたが、予想以上に多くの子どもが興味を示してくれていたのが驚きでした。



## 団員募集のお知らせ

### 消防団員募集

有事の際に活躍できる団員を募集しております。資格をとることもできます。(準中型免許、小型車両系建設機械など)

気になる方はお近くの消防団員、またはお近くの消防詰所までお気軽に声をかけてください。

電話

080-1294-5298

メール

rith\_mish@icloud.com





コミュニティスクール

委員長 小澤澄子

コミュニティスクール学校運営協議会に参加する中で、中学校、小学校の取り組みについて知ることができました。中学校の「ジュニアボランティア活動」は積極的な取り組みが見られ、活発になりました。小学校の取組①【週1回10分のなかよしタイム】うなずいて、目を見て、ラストまで一生懸命にスマイルで聴こう！ 取組②【校内ボランティア】人の役に立ちたい・人を喜ばせたい・活動に自主的に参加したいという意欲を養うは、ボランティアは楽しい ↓中学校のジュニアボランティアに繋げるよう心掛けていきます。これらは、大人にも通じることだと思えます。小中学校の元気な活動状況がたくさん寄せられ、嬉しいことです。

また、11月15日にコミュニティスクール学校運営協議会主体で、鼎小学校創立150周年記念式典が行われました。下山獅子舞保存会による祝舞に始まり、PTAによるバルーンリリースで幕を下ろしました。PTA会長の言葉通り、「子ども達の記憶や思い出に残ったことでしょう。子どもの居場所づくり、世

代間交流事業等では、地域の皆様に変なお世話になっております。切石では、今夏初めて宿題会を行い、日赤奉仕団の炊き出し実習を見学しました。一緒に食事をして、役割等を教えてもらいました。委員会の事業はこれからも続きますが、ご協力いただいている全ての皆様に感謝申し上げます。

中平 夏の学習会

中平区では「夏やすみいっしょにしゅくだいをやろう」と銘打って8月1日〜3日の3日間、公民館・子どもを育む委員会・寿永会の三者共同で小学生を対象に夏休みの宿題学習会を開きました。1日目は宿題とゲーム。2



日目は飯田市美術博物館に行き、プラネタリウム天歩の夏休み投影「オーシャン」の鑑賞と自然・文化展示を見学し、公民館に戻り、宿題に取り組みました。3日目は「わたちやんのドッコイショ劇場」による人形劇の鑑賞と宿題に取り組みました。

児童の参加は延べ17名でしたが、3日目の人形劇鑑賞は、保護者の方々も含め20名で楽しみました。

今年度が2回目の取り組みで、昨年度に続き参加した児童が、夏休みの宿題の分からない部分を持つてくるという状況が生まれてきました。

課題としてはまだまだ参加する児童が少ない状況であることです。来年度以降も継続することによって、保護者や

東 初めての農業体験

児童の夏の学習会への理解も深まり、参加を促すことにながると考えています。家庭ではなかなか夏休みの宿題が進まないと思っているみなさん、来年はぜひ参加を考えてください。

前々から何か子ども達に農業の体験をさせる事業ができないかと考えていました。なかなか具体的な行動に移せませんでした。今回、公民館の皆さんからジャガイモ掘りをしてみないかとPTAに話があり、子ども達と親、そして区民で楽しい芋掘り体験をすることができました。

帰りには「持てるだけ持って行って！」と言っていたので、大きなビニール袋



一杯に持ちきれないほどのジャガイモを入れてフラフラしながら帰る子ども達の様子に思わず笑顔がこぼれました。鼎の他の地区では子ども達が田植えや稲刈りなどを体験している話を聞き、東鼎も何かできたらいいと考えていただけに、今年は公民館の皆さんに感謝・感謝です。また来年も、何か空の下で子ども達に農業の体験をさせることができなにか、これから計画を立てていきたいと思っています。

少しずつ公民館を活用した科学実験や色々な製作体験も増やして、将来は夏休みや冬休みに宿題をやったり、ゲームをしたりできる居場所づくりができればいいなと思っています。

# 環境衛生

## 全市一斉 水辺等美化活動

名古屋支部長 関島 勇二

去る7月2日(日)、前日まで降り続いた雨も上がり、全市一斉水辺等美化活動が予定通り行われました。各地区で多くの方にご参加頂き、ありがとうございます。

名古屋区でも、308名の区民に美化活動に参加いただきました。農地、住宅地と商業地などに分かれ、河川の少ない



地区では道路脇の草刈りをしていたいただきました。報告によると、5月末に「春のごみゼロ運動」が行われたこともあり、空き缶等のごみは少なかつたようです。しかし、雑草の生育が盛んで、草刈り作業が大変であったようです。また、アップルロード周辺の河川は深く幅のある構造となっており、住民が清掃するには大変で危険な箇所があります。



### 「全市一斉水辺等美化活動」 各地区実施結果

地区名	活動内容	参加人数(人)
下山	・河川のごみ清掃及び除草 ・道路清掃 ・軽トラック2台で草運搬	291
東  鼎	・河川清掃 ・ごみ拾い	65
西  鼎	・松川堤防及び斜面草刈り ・ごみ拾い	61
下茶屋	・河川内外の草取り及びコケ取り ・排水溝の砂、石、ごみの除去	141
中  平	・河川の草取り及びコケ取り ・土砂除去 ・ごみ拾い	262
上茶屋	・河川清掃 ・草刈り ・枝打ち	56
切  石	・河川清掃 ・河川敷草刈り	518
上  山	・河川や水路のごみ拾い及び草取り ・側溝の泥上げ、浮遊物や落ち葉の除去 ・道路清掃	440
一  色	・河川清掃(軽トラック1台運搬) ・ごみ及びアルミ缶拾い	113
名古屋	・側溝の土上げ ・河川のごみ拾い及び草刈り	308
合計	—	2,255

アップルロードの歩道と法面は業者の方に整備をお願いしています。河川清掃も業者の方をお願いできれば幸いです。ゲリラ豪雨による河川の氾濫が報道されており、日頃から身近な水辺等の美化に努め、防災にもつながると思います。

### 井水の恵みと海の豊かさを守ろう

一色支部長 小林 隆司

去る11月12日(日)鼎地区では、秋のごみゼロ運動が行われました。

当日は、多くの皆様にご参加いただきありがとうございます。一色区では、4つの井水中心に井水の恵みを感じながら春、夏、秋の河川掃除

皆様のおかげで多くの場所がきれいになりました。ご協力ありがとうございました！

### 「秋のごみゼロ運動」 各地区実施結果

区名	参加人数(人)			空き缶(本)	空きびん(本)	ペットボトル(本)	燃やすごみ(袋)	埋立ごみ(袋)	金属資源(袋)	
	大人	子ども	計							
下山	212	5	217	6	10	17	7	21	4	
東  鼎	68	0	68	5	1	4	1	52	2	
西  鼎	58	2	60	0	0	0	1	6	1	
下茶屋	117	12	129	4	0	6	0.2kg	10	0.5kg	
中  平	236	16	252	19	3	17	3	50	0	
上茶屋	52	3	55	1	0	2	0	2	0	
切  石	438	6	444	25	18	30	4	35	0	
上  山	396	19	415	27	2	22	2	19	0	
一  色	97	3	100	23	8	14	1	6	23	
名古屋	282	19	301	40	35	28	7	37	5	
合計	1,956	85	2,041	150	77	140	26 +0.2kg	238	35 +0.5kg	
その他	電池、花火、ガラス、タバコの吸い殻、マスク、お菓子の袋、バイクのバッテリー、靴、陶器、カイロ、ビニールシート、弁当容器、ぬいぐるみ、ビニール傘、発泡スチロールの箱、ネット									



とごみゼロ運動を行っていません。どんな小さな井水でも必ず天竜川を通じて遠州灘まで流れて行きます。自分達をとりまく水系の命の循環に関心を持ちごみを捨てるべきだと考えさせられるごみゼロ運動です。水系生物に絡まつたり、生物が摂取したり、海洋汚染はとても深刻で、海のプラスチックごみの問題は我々ひとりひとりのごみの廃棄の仕方



で発生させてしまっていると思います。「循環・有限・調和・豊か」を生活の価値観におき、これからの子ども達に残さないとはいけません。現在は如何でしょうか。秋のごみゼロ運動の季節には、赤とんぼがたくさんいて捕まえたりした記憶があります。大切なものを失っていると考えさせられました。

# 健康福祉

『ふれあい広場・文化祭』  
 ほかほかの晴天の中開催  
 〈飲食を伴う模擬店出店〉  
 総務運営部会長  
 (中平) 川口 充央



賑わう青空食堂

11月4日5日に鼎地区における最大のイベント「ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭」が鼎文化センター・鼎体育館を中心に開催されました。天気に崇まれることも多い「ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭」ですが、今年は晴天に恵

まれ、11月とは思えない暖かさの中での開催となりました。健康福祉委員会は、鼎文化センターの駐車場での模擬店・フードドライブと、体育館での展示・絵手紙制作(コラムかなえで紹介)を担当しました。

模擬店は新型コロナウイルス感染症の影響下の中、中止或いは飲食物禁止で実質4年振りに通常の形になり、どれだけの方が参加していただけたか不安な部分もありましたが、多くの皆様にご参加をいただきました。青空食堂で、家族連れ・友達同士、笑顔で談笑している姿を見ると、改



めて無事開催できて良かった感じました。

また、フードドライブも「ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭」においては、3年連続で行わせていただきました。多くの皆様に、家庭等で余っている食品をお持ちいただきました。まして、昨年を超える376点、323・14kg(昨年は324点、270・43kg)を集めることができました。心より厚くお礼申し上げます。健康福祉委員会としては、有意義な事業と考えておりますが、まだまだ住民の皆様にご浸透しきれていない部分も感じられ、これから如何に理解をしていただいてもらうかの努力を続けていきたいと思えます。



フードドライブ お米を頂戴する

フードドライブ 2日間の実績



## 敬老祝賀事業

上山支部長  
 細井ひろみ

地域のために、長年にわた

りご尽力くださった大先輩の皆様にご感謝し、これからもお元気で過ごしいただきたいという願いを込めて、上山区では9月10日に祝賀事業を行いました。2か月前か



お赤飯とお酒を届ける

らの準備、調査を経て、当日は、組長、正副班長、健康福祉委員が協力して40名程の75歳以上の方に、男性にはお酒、女性には甘酒を添えてお赤飯をお届けしお祝いたしました。前もって回覧で在宅をお願いしてありましたので、時間通り全員の皆様にきちんとお渡しすることができ、とても喜んでいただきました。ここ数年コロナ禍で人々との交流を控えなくてはならない状況が続きました。感染防止等、若者の手本となり頑張ってくださいとご高齡の皆様、ありがとうございます。今後も長年培われた知識と経験を生かして、地域の発展に更なるお力添えをお願いいたします。

# 生活安全

## 明星保育園

### 交通安全教室

中平支部長  
黒河内守仁

緑色の季節から、色づく季節へと変わり出したよく晴れた日に、明星保育園の交通安全教室がありました。交通安全教室には、名古屋交番の警察官2人と鼎地区の生活安全委員2人が参加しました。

はじめに、名古屋交番の方から「交通ルールをしっかりと守りましょう」、「自分の命は、自分で守りましょう」という大切な話がありました。

次に、実際に道に出て交差点の渡り方などを体験しました。子ども達は2人ずつ手を繋いで、警察官や保育士



● 明星保育園 ●

さんの話を聞きながら、上手に交差点を渡っていました。しかし、住宅地内の横断歩道のない小さな交差点で、手を挙げるのを戸惑っている子どもの姿もありました。普段使っている生活道路の安全な歩き方も、日常生活の中で教えていけると良いと思いました。

警察官と生活安全委員との区別が難しい子ども達は、私にも「おまわりさん！」と笑顔で手を振ってくれました。そんな子どもたちの笑顔を守るためにも、車や自転車を運転する大人が気を付けるようにしたいものです。



● 鼎みつば保育園 ●



● 鼎あかり保育園 ●



### 秋の交通安全運動が実施されました。

## 人波ルート作戦

9月21日(木)午前7時、東鼎交差点にて人波ルート作戦を実施し、交通指導員や警察官など約40名がのぼり旗を掲げ、ドライバーに交通マナーの実践を呼びかけました。

## 交通指導所の開設

9月24日(日)午前10時、東鼎交差点にて交通指導所を開設しました。

生活安全委員と名古屋交番の警察官が、赤信号で止まった車のドライバーに啓発チラシを配布しながら安全運転を呼び掛けました。



## 秋季非常招集訓練が実施されました。

9月15日(金)夜7時半より、名古屋の伊豆奈公園付近で消防団第15分団の秋季非常招集訓練が行われ、交通指導員6名が非常線を3か所に張り交通規制を行いました。

日頃から消防団と連携を図ることが大事だと感じました。

